

景況レポート

(5月分・情報連絡員80名)

業界全体の景況感が3ヵ月ぶりに改善

【概況(全体)】

5月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが12.5%(前回調査7.5%)、「悪化」が41.3%(同43.8%)で、業界全体のDI値は-28.8となり、前月調査と比較して7.5ポイント上回り、景況感は3ヵ月ぶりに改善した。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は全国及び東北・北海道ブロックを上回っているものの、非製造業は全国を若干下回り、低い水準で推移した。

【業界別の状況】

業界別では、一部の鉄鋼・金属や小売業、建設業などで景況感の改善が見られた。また、卸売業、商店街では悪化割合が縮小した。

一方、木材・木製品では製品販売価格が値下がり傾向にあり、印刷業は民間需要が減退している。また、運輸業では荷動きに回復が見られず低調に推移するなど、多くの業種で受注の減少や売上の不振が続いている。

全体の景況感としては、住宅着工をはじめとする需要の減退や個人消費の低迷等により依然として景気の停滞が感じられる状況が続いており、年初来の円高基調に起因する外需不振や価格競争もデフレ動向に一層拍車を掛けており、中小企業の先行き不透明感は依然として増大している。

＜全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較＞

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-28.8	-33.2	-28.6
製 造 業	-18.7	-34.5	-28.1
非製造業	-35.5	-32.2	-28.7

＜景況天気図＞

項目	業界の景況	売 上 高	販 売 価 格	取 引 条 件	資 金 繰 り	雇 用 人 員
製 造 業						
非製造業						

【凡例】 快晴 30以上 晴れ 10以上 30未満 曇り △10以上 △30超 10未満 雨 △30以下 雷雨 △30以下

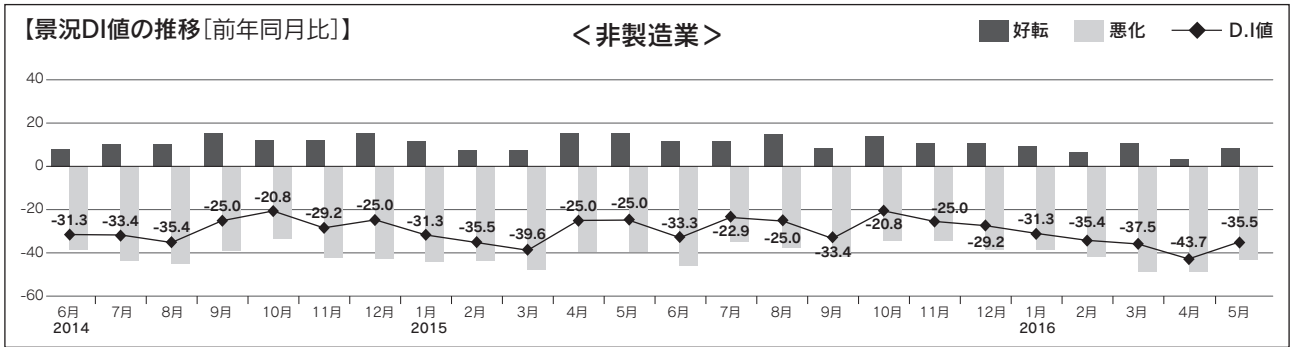
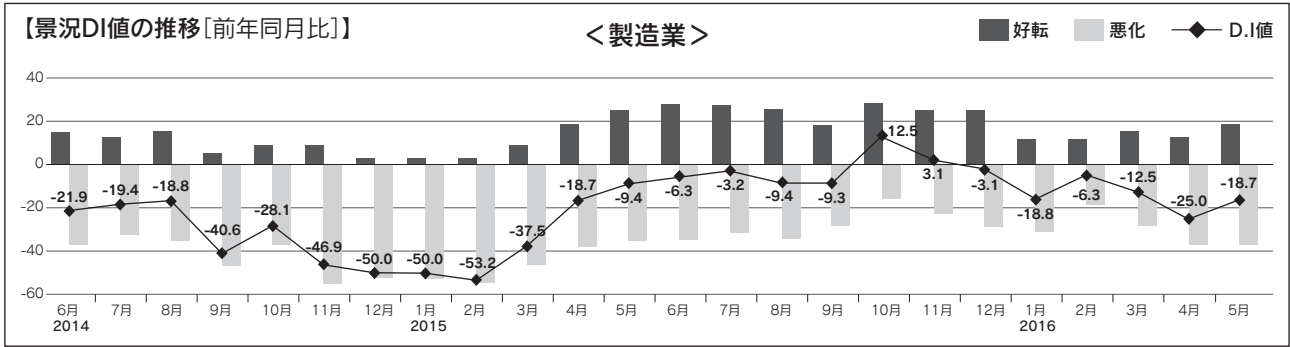
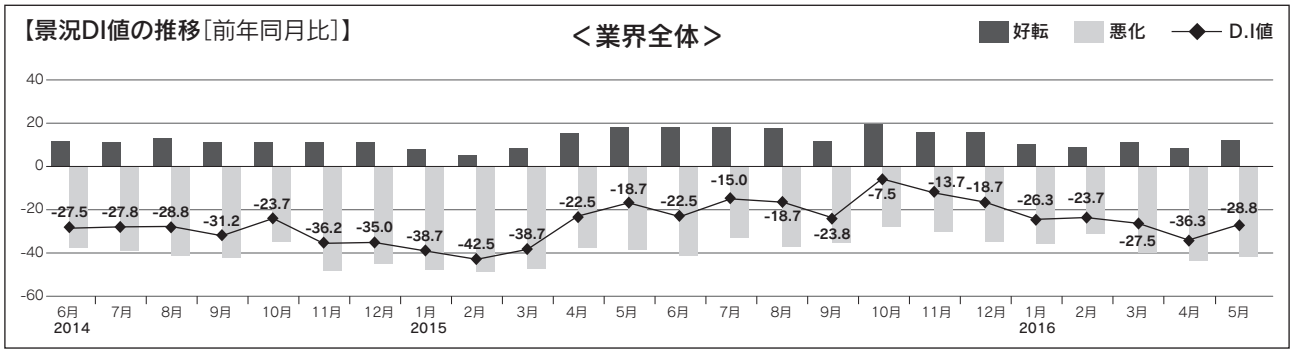
【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食 料 品 (清 酒)	4月の清酒出荷量は1,968,404ℓで、前年同月比101.7%となり、6ヵ月ぶりに前年実績を上回った。タイプ別では、吟醸酒が前年同月比107.5%、純米酒が同107.4%と好調に推移した。
織 維 工 業 (繊維製品)	紳士服の生産は、前年同月並みで推移した。婦人服では、受注量は確保できたものの、加工賃の値下げやデザインの多様化により、品質を維持しながら目標数を達成することが難しい状況であった。(県南地区)
木材・木製品 (一般製材)	住宅需要が低迷する中、競合他社が安価な製品を提供するなど、市況が安定しないため、6月以降の製品販売価格は横ばいか値下がり傾向で推移するものと推測される。(中央地区) 県内には若干動きが出てきたと感じている。製品販売価格は多少値下がり傾向だが、出荷量は横ばいで推移している。(県南地区)
木材・木製品 (素材生産)	4月の秋田プライウッド向浜第二工場の火災の後、第一工場及び男鹿工場がフル稼働し、合板の生産量は前年同月比で8割程度まで回復したが、合板用原木は冬期間の在庫量がまだ多く、前月に引き続き荷動きは低調であった。今後、在庫量の消費が進むにつれ、回復に向かうものと予想される。
印 刷	需要の増加や回復を実感するまでには至っていない。組合を脱退した企業の廃業があり、今後も同様の事態が発生することが懸念される。(中央地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	5月の出荷数量は、前年同月比で84.7%となった。地区別では、大館北秋地区での落ち込みが大きく、3月以降は前年同月比50%前後で推移している。
鉄鋼・金属 (機械金属)	4月の売上高は、631,022千円で前年同月比110.7%、前月比70.5%で推移した。
一 般 機 器 (金属加工)	受注は前年同月並みに推移したが、取引条件は依然として厳しい状況である。
その他の製造業 (漆 器)	大型連休から川連漆器工芸館への来館者数が増え始め、売上也目標額を達成し、前年同月比で10%増加となった。今後も様々な企画展を考案している。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 (商業卸)	各組合員企業とも需要の停滞を危惧しており、販売単価の低下・上昇難により、今後も厳しい経営環境が続くものと予想している。(秋田市)
小売業 (みやげ品)	大型連休中の売上は、前年比65%となった。連休前に桜の時期が終わってしまったことと、団体旅行の貸切バス運賃が値上がりし、旅行客が減少したことが要因と考えられる。しかし、連休明け以降の売上は、前年同月比で若干増加となった。
小売業 (クレジット業)	5月の総取扱高は、前年同月比で15%増加した。衣料品関連に、若干持ち直しの動きが見受けられる。(大館市)
商店街	各組合員とも総じて売上は減少傾向にある。しかし、飲食業は前月に引き続き順調に推移した。(秋田市) 消費税増税が延期となり、消費の更なる冷え込みは回避されたが、前回の消費税増税以降の売上不振が未だに続いている。(大館市)
サービス業 (旅行)	5月の売上は、前年同月比で国内旅行が151.7%、海外旅行が60.0%となった。国内旅行は前月に引き続き好調に推移した。
建設業 (建材・フォーム工事)	消費税増税の延期が発表されたが、それ以前に増税前の駆け込み需要の動きがあり、例年よりも受注が若干増加した。
建設業 (電気工事)	新築、増改築工事ともに受注量は前年同月比で若干増加した。しかし、職人の高齢化と人材不足は、前年よりも深刻な状況となっている。(大仙市)
運輸業 (トラック)	5月に入っても荷動きは一向に回復せず、未だ本来の動きになっていない。(中央地区)
その他の非製造業 (砂利採取)	生コン用骨材の出荷量は前年同月並みで推移したが、路盤材等の骨材は、相変わらず荷動きが鈍い状況であった。(県南地区)